

富士見を歩こう!



市内の公園や文化財・花の見どころなどを巡る散歩道を紹介します。ふだん通る道からちょっと寄り道して、地域の魅力を再発見してみませんか。

(1) 開業100年の鶴瀬駅から上沢へ



① 鶴瀬駅開設の石碑

鶴瀬駅は大正3年(1914年)5月1日、東上線開通と同時に開業し、100周年を迎えました。上の写真は鶴瀬駅設置に関わった有志の皆さんを大正7年に撮影したものです。中央に見える「鶴瀬駅之碑」は現在、駅の上り線最後尾(川越寄り)付近に残されています。

▶巡回写真展「鶴瀬駅の100年」を開催します(19ページ参照)



② 貝戸の森

富士見江川の支流・権平川沿いに点在する雑木林のひとつ。住宅街の中にあって貴重な緑のオアシスが残されています。



③ 東上線のレンガ橋台

権平川に架かる小さな橋。東上線単線時代の名残で、上り線橋台はレンガ積みで、戦後に増設された下り線側はコンクリート製となっています。



⑤ 緑豊かなお茶畑

ふじみ野市との市境付近には広々とした茶畑が見られます。もうすぐ新茶の季節。隣接する製茶園で、製造直売もしています。



⑥ 鶴瀬にもう一つの駅が

「富士見市駅」は、むさし野緑地公園にあるミニ鉄道の駅です。昭和55年(1980年)の開業以来、富士見市ミニ鉄道クラブの皆さんが子どもたちを乗せて走り続けています。

④ 上沢薬師堂

お堂の右手には百観音があり、西国三十三か所、坂東三十三か所、秩父三十四か所の札所の合わせて百か所の本尊である観音像が整然と並んでいます。



今回のコース
約3.8km

